

**伏見・栄地区都市再生安全確保計画  
情報伝達ガイドライン**

**令和4年3月**

**伏見・栄地区安全確保計画部会**

## はじめに

本ガイドラインは、大規模地震発生時における伏見・栄地区の滞在者等の安全確保を図るとともに、当地区で発生が懸念される膨大な数の帰宅困難者による混乱を防ぐため、帰宅困難者対策に必要な情報伝達に係る基本的な考え方について整理したものです。

地区内の事業者の皆様には、発災時の帰宅困難者対策に係る情報伝達が円滑かつ確実に行われますよう、本ガイドラインを参考に、幅広くご協力をいただければと思います。

今後も、大規模地震発生時に情報伝達が進むよう、引き続き、課題解決に向けて取り組んでまいります。

## 本ガイドラインに係る用語の説明

### 【行 動】

- ・一 斉 帰 宅 抑 制 大規模地震発生時に、一斉に帰宅行動をとった場合、鉄道駅周辺や路上に膨大な滞留者が発生し、応急対策活動の妨げとなるなどの混乱が生じる恐れがあるため、むやみに移動を開始しないよう呼びかけ等を行うこと

### 【ひ と】

- ・滞 在 者 地区内に出勤・登校目的で来ている人（従業者及び通学者）
- ・従 業 者 地区内に出勤目的で来ている人
- ・通 学 者 地区内に登校目的で来ている人
- ・来 訪 者 地区内に買物・出張等で来ている人
- ・徒 歩 帰 宅 可 能 者 滞在者・来訪者のうち、自宅までの距離が近く、徒歩による帰宅が可能な人
- ・帰 宅 困 難 者 滞在者・来訪者のうち、自宅までの距離が遠く、徒歩による帰宅が困難な人
- ・帰 宅 困 難 来 訪 者 帰宅困難者のうち、滞在者で勤務先・通学先の建築物が倒壊の恐れがある等滞在場所を確保できなかった者及び来訪者
- ・施 設 管 理 者 等 企業・学校・駅・大規模集客施設・一時退避場所・退避施設・避難場所等・徒歩帰宅支援ステーション等の管理者・所有者・占有者
- ・事 業 者 交通事業者・ライフライン事業者・施設管理者等

### 【施 設】

- ・一 時 退 避 場 所 大規模地震発生時に、施設の安全性が確認されるまでの間、滞在者・来訪者が一時的に退避するための場所（伏見・栄地区都市再生安全確保計画に定める都市再生安全確保施設）
- ・退 避 施 設 発災から 24 時間を限度として帰宅困難来訪者を受け入れるための施設で、帰宅困難来訪者が安全に風雨をしのぐことのできる施設（伏見・栄地区都市再生安全確保計画に定める都市再生安全確保施設）
- ・徒 歩 帰 宅 支 援 ス テ ー シ ョ ン 愛知県と「災害時における徒歩帰宅者支援に関する協定」を締結した事業者の店舗等で、水道水、トイレや各店舗で把握している範囲の災害情報の提供を受けられることができる

## 【 目 次 】

### 1. 基本的な考え方

<b>1－1. 趣旨</b>	1
<b>1－2. 滞在者・来訪者の行動と求められる情報</b>	
（1）発災時にとるべき滞在者・来訪者の行動	2
（2）発災時に提供が求められる情報	3
（3）平常時に提供が求められる情報	4
（4）情報の発信者と伝達手段	4
<b>1－3. 発災時の情報伝達体制</b>	
（1）情報伝達の体制	6
（2）行政・事業者の役割	7

### 2. 発災時の対応

<b>2－1. 情報提供の基本的な流れ</b>	8
<b>2－2. 行政・事業者求められる情報提供</b>	10
（1）名古屋市	11
（2）交通事業者	12
（3）一時退避場所管理者	13
（4）退避施設管理者	14
（5）企業・学校・大規模集客施設等管理者	15
<b>2－3. 情報提供の方針と内容</b>	
（1）周知・注意喚起情報の提供	16
（2）情報入手・提供方法と場所の周知	19
（3）滞在者・来訪者を安全に退避・帰宅させるための情報	22

### 3. 平常時の備え

<b>3－1. 啓発の実施</b>	38
<b>3－2. 情報伝達体制の構築</b>	38
<b>3－3. 情報入手・提供方法と場所の周知</b>	38
<b>3－4. 各施設内における情報伝達環境の整備</b>	38
<b>3－5. 安否確認手段・情報入手方法と場所の確認</b>	38

# 1. 基本的な考え方

## 1-1. 趣旨

伏見駅・栄駅（両駅合計の一日の乗降客数約 51 万人）を中心として広がる伏見・栄地区は、名古屋駅周辺地区とともに名古屋市の2つの都心核を形成する地区である。伏見・栄地区では、大規模地震（南海トラフ巨大地震）が発生した場合、鉄道等の公共交通機関の停止によって、平日 13 時に行き場のない帰宅困難来訪者は 26,600 人にのぼると推計されています。

こうした帰宅困難者の発生による駅及びその周辺における混乱を防ぐとともに、地区内の滞在者等の安全を確保していくためには、滞在者・来訪者の一斉帰宅抑制が重要です。あわせて、一時退避場所や退避施設の確保、避難誘導や情報伝達、避難訓練等のソフト・ハードが一体となった対策に、官民が連携して取り組んでいく必要があります。こうした対策は、一時退避場所や退避施設等の個々の施設単位だけではなく、伏見・栄地区のエリア全体としての避難誘導や情報伝達等の共通ルールを踏まえて取り組んでいくことによって、さらに効果的なものとなります。

本ガイドラインは、伏見・栄地区における帰宅困難者対策に係る情報伝達に関する基本的な考え方を示したもので、大規模地震発生（以下「発災」という。）時に、地区内の事業者の皆様にはどのような情報を提供していただくか、滞在者・来訪者はいつどこでどのような情報をどのように入手できるか、また、平常時の備えとしてそれぞれが何をしておくべきか等を整理しています。

## 1-2. 滞在者・来訪者の行動と求められる情報

### (1) 発災時にとるべき滞在者・来訪者の行動

発災時において、鉄道等の公共交通機関の停止やライフラインへの被害が見込まれる中で、救命・救助活動、消火活動、緊急輸送活動等の応急活動を迅速かつ円滑に行う必要があり、帰宅困難者がその活動の妨げとならないよう、「むやみに移動を開始しない」という一斉帰宅の抑制をするなど、混乱の回避に努めなければなりません。

行政や事業者は被災者への対応や事業継続にそれぞれ尽力するため、帰宅困難者への対応が制限されることから、帰宅困難者自らが積極的に情報を収集し、収集した情報に基づき、混乱なく安全な場所に自ら避難し留まり、混乱なく帰宅することが重要です。そのためにも、行政と事業者が連携して、帰宅困難者を含む滞在者・来訪者が混乱なく行動できるように必要な情報を、適宜適切に提供することが求められます。















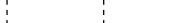

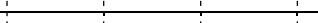
発災から時間が経過するにつれて、帰宅困難者を含む滞在者・来訪者がとるべき行動は以下のとおり変化し、それに伴って伝達すべき情報も変化します。

#### 【帰宅困難者を含む滞在者・来訪者がとるべき行動】

時間経過	具体的な取組み	内容
<b>発 災</b>	自衛行動	姿勢を低くし、頭を守って、揺れが収まるのを待ちます。
	一斉帰宅の抑制	「むやみに移動を開始しない」という帰宅困難者対策の基本原則に従います。
<b>発災から概ね 1時間後まで</b>	施設内待機	勤務先や通学先での待機が可能な者は、それぞれの勤務先や通学先で施設内待機します。
	一時退避場所への避難	施設内待機ができない場合、一時退避場所等安全な場所へ避難します。
	一時退避場所での待機	混乱収拾までの間、一時退避場所等安全な場所で留まります
<b>概ね6時間後 まで</b>	情報の収集	安全な場所に避難し、しばらく留まり、その後自らの判断により安全を確認し帰宅するため、必要な情報を自ら積極的に収集します。
	時差帰宅	道路の混雑状況や帰路の被災情報を収集し、自らの判断により安全を確認し、帰宅します。
<b>概ね 24 時間 後まで</b>	退避施設への移動・退避施設での待機	上記の帰宅ができない場合、退避施設等の安全な場所に自ら避難し、混乱収拾までの間、留まります。
	情報の収集	安全な場所に避難し、しばらく留まり、その後自らの判断により安全を確認し帰宅するため、必要な情報を自ら積極的に収集します。
	時差帰宅	道路の混雑状況や帰路の被災情報を収集し、自らの判断により安全を確認し、帰宅します。

## (2) 発災時に提供が求められる情報

発災時に滞在者・来訪者に対して提供する情報は、発災後時間が経過するにつれて変化し、次の通り「周知・注意喚起」「情報入手・提供方法と場所」「滞在者・来訪者を安全に退避・帰宅させるための情報」の3つに大きく分けられます。

区分	種類	内容	情報の提供時間退位			
			発 災 ▼	1 時 間 後 ▼	6 時 間 後 ▼	24 時 間 後 ▼
発 災	注意喚起・周知	安全確保の周知・注意喚起				
		混乱回避の周知・注意喚起				
情報入手・提供方法と場所	情報入手・提供方法	各種ウェブサイト、SNS (Facebook・X(旧:Twitter))、災害用伝言板等のアドレス及び使用方法				
	情報入手・提供場所	通信スポット、公衆電話、大型ビジョン、デジタルサイネージ、掲示板等の場所				
滞在者・来訪者を安全に退避・帰宅させるための情報	地震情報	震源地、震度、余震等				
	公共交通機関情報	鉄道・地下鉄・バス等の被害情報、運行情報、復旧見込情報等				
	建物被害情報	屋内待機可否、建物点検結果				
	一時退避場所情報	一時退避場所の場所、混雑状況				
	医療情報	病院、薬局、救護施設等				
	帰宅支援情報	徒歩帰宅支援ステーション、徒歩帰宅経路、道路の通行可否、代替輸送等についての情報				
	各地の被害情報	現在地や居住地等の被害情報				
	道路・橋梁情報	通行止め、危険箇所等				
	ライフライン情報	電気・上下水道・ガス・通信等の被害、復旧情報等				
	気候情報	雨の情報、気温				
	退避施設情報	場所、開設状況、混雑状況、受入可否				

発  
災

発災から概ね1時間まで

概ね6時間まで

概ね24時間まで

### (3) 平常時に提供が求められる情報

平常時に滞在者・来訪者に対して提供する情報は、次の通りです。

区 分	内 容
発災時の混乱回避に係る情報	一斉帰宅抑制、勤務先や通学先での待機
一時退避場所情報	一時退避場所の場所
退避施設情報	退避施設の場所
情報入手・提供方法	各種ウェブサイト、SNS（Facebook・X(旧:Twitter)）、災害用伝言板等のアドレス及び使用方法
情報入手・提供場所	通信スポット、公衆電話、大型ビジョン、デジタルサイネージ、掲示板等の場所

### (4) 情報の発信者と伝達手段

#### ①情報の発信者

行政、報道機関等、事業者、さまざまな主体から情報が発信されます。

なお、共助の観点から、滞在者・来訪者もSNS等を利用して付近の状況等の情報提供に努めることが重要であるため、発信者として整理しています。

区 分	発 信 者
行政	・ 国（気象庁・消防庁・内閣府） ・ 県 ・ 市（市災害対策本部） ・ 警察 ・ 道路管理者
事業者	・ 交通事業者（電車・地下鉄・バス・タクシー） ・ 一時退避場所管理者 ・ 退避施設管理者 ・ 企業・学校・大規模集客施設管理者等 ・ ライフライン事業者（電気・水道・ガス・通信） ・ 徒歩帰宅支援ステーション管理者 ・ 報道機関等
その他	・ 滞在者・来訪者



## ②情報の伝達手段

情報の伝達手段には、インターネット、公共放送、電話といった回線等を利用して伝えられるものと、デジタルサイネージ等での表示や館内放送などその場で直接伝えられるものがあります。

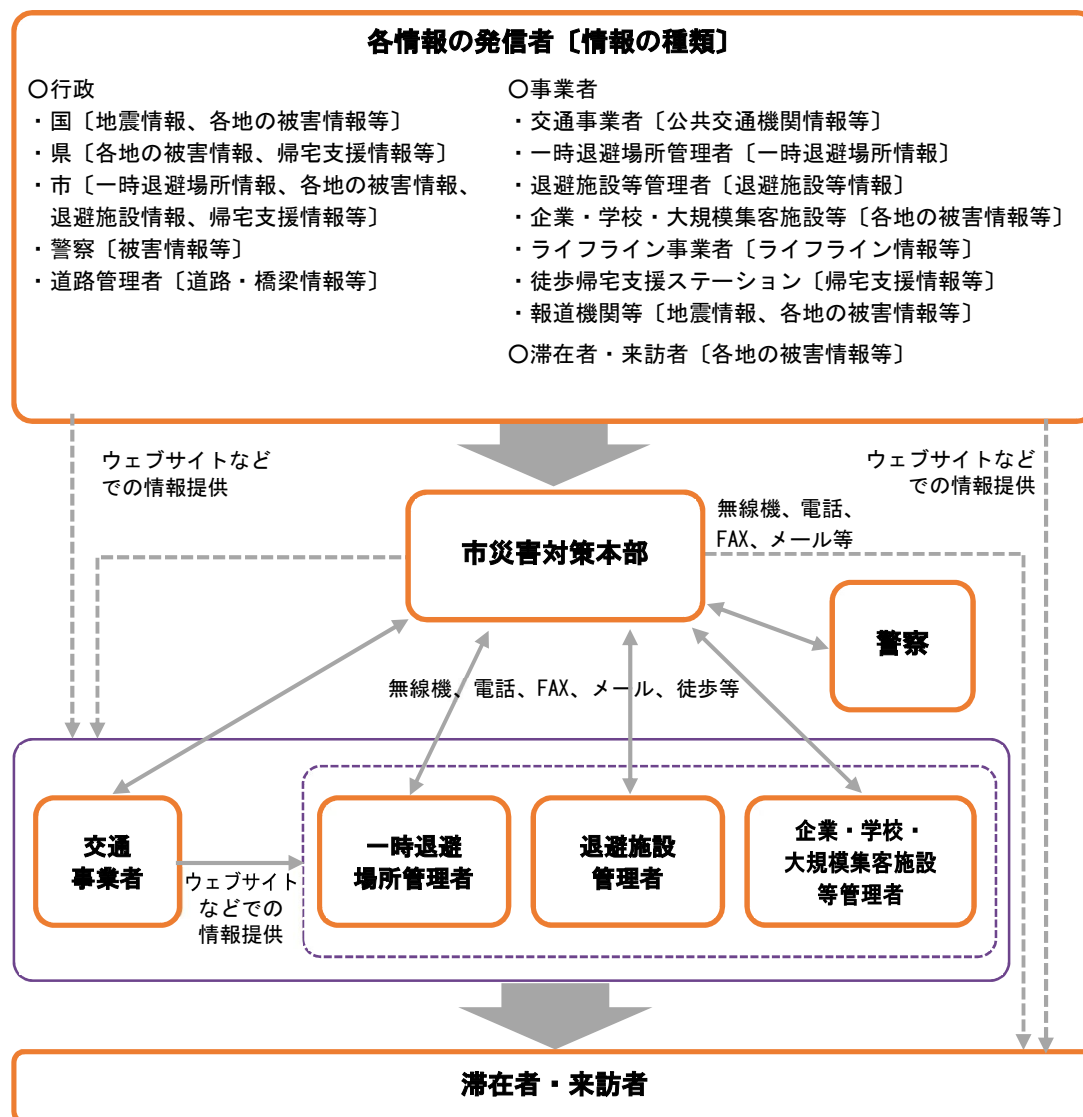
区 分	伝 達 手 段
インターネット	<ul style="list-style-type: none"><li>・名古屋市公式ウェブサイト（帰宅困難者支援サイト）</li><li>・名古屋市防災アプリ</li><li>・ウェブサイト</li><li>・災害用伝言板</li><li>・SNS（Facebook・X(旧:Twitter)）、</li><li>・なごや減災プロジェクト※1</li><li>・メール（行政等からの一斉発信・個々のやり取り）</li></ul>
公共放送	<ul style="list-style-type: none"><li>・テレビ</li><li>・ラジオ</li></ul>
電話・FAX	<ul style="list-style-type: none"><li>・災害用伝言ダイヤル</li><li>・個々の通話</li><li>・FAX</li></ul>
紙媒体	<ul style="list-style-type: none"><li>・ポスター・パンフレット等</li></ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"><li>・防災スピーカー（同報無線）</li><li>・無線機</li><li>・大型ビジョン・デジタルサイネージ</li><li>・掲示板・案内板</li><li>・館内放送・スピーカー・拡声器</li><li>・人伝い</li></ul>

※1：なごや減災プロジェクト：気象情報や災害情報などをウェブサイト上で投稿・閲覧できるコンテンツ（地図上で場所及び画像の投稿が可能）

### 1－3．発災時の情報伝達体制

#### (1) 情報伝達の体制

滞在者・来訪者への情報伝達にあたっては、発信者から直接情報を提供できる場合と、市災害対策本部及び地区内の事業者を通じて情報を提供できる場合があります。これらの情報を滞在者・来訪者に対して混乱なく、かつ円滑に提供するためには、発災時の情報伝達の流れを平常時から把握しておくことが重要です。



## (2) 行政・事業者の役割

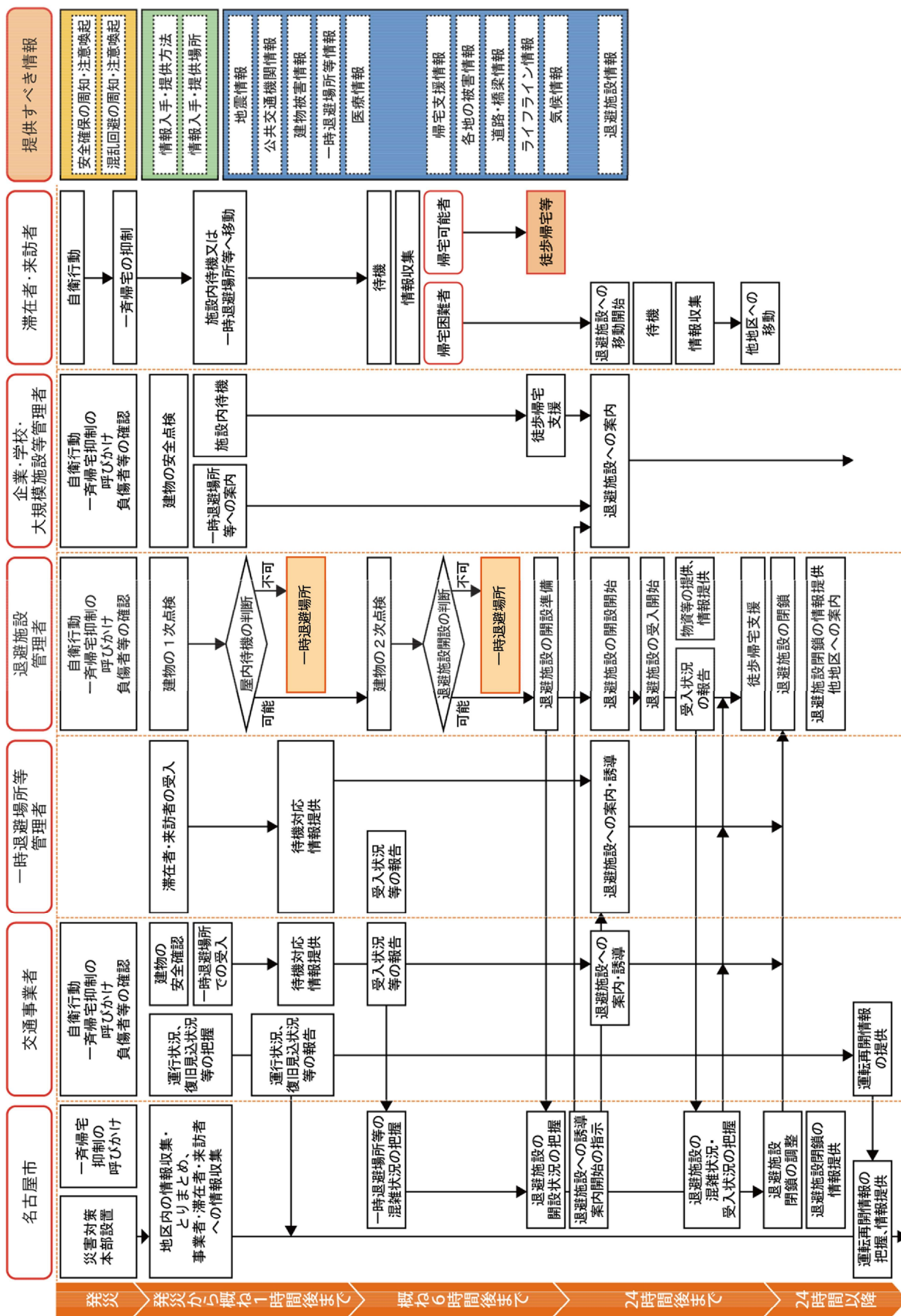
地区内の情報の発信者である行政、事業者の役割は以下の通りです。

発信者	情報収集・提供	支援等
市災害対策本部	<ul style="list-style-type: none"> <li>○全市・広域的な情報を収集・とりまとめ、関係機関へ一斉提供</li> <li>○関係機関との総合調整、応援要請</li> <li>○周辺市町の情報を収集・提供</li> <li>○地区内関係行政機関や事業者との総合調整</li> <li>○地区内の被害状況、交通状況等の情報収集・とりまとめ、事業者や滞在者・来訪者等へ一斉に情報提供</li> <li>○一時退避場所等や退避施設の開設状況、受入状況を把握し、避難誘導をコントロール</li> <li>○一時退避場所等管理者や退避施設管理者、交通事業者への情報提供の指示</li> <li>○退避施設閉鎖の調整</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○退避施設閉鎖の判断やその後の対応に係る情報提供</li> <li>○公共交通機関再開時の誘導・混雑回避支援</li> </ul>
交通事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>○運行状況や復旧見込状況を把握</li> <li>○利用者等に随時情報提供</li> <li>○一時退避場所・退避施設への案内・誘導</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○施設の安全点検</li> <li>○滞在者・来訪者の一時退避場所での受入</li> <li>○運行再開時の誘導</li> </ul>
一時退避場所管理者	<ul style="list-style-type: none"> <li>○目視等で駅や周辺状況を確認し、情報を収集</li> <li>○行政等から入手した各種情報や現地で得た情報などを滞在者・来訪者に提供</li> <li>○施設の安全面、受入状況等を市災害対策本部に報告</li> <li>○退避施設への案内・誘導</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○滞在者・来訪者の受入れ</li> <li>○徒歩帰宅支援</li> </ul>
退避施設管理者	<ul style="list-style-type: none"> <li>○目視等で駅や周辺状況を確認し、情報を収集</li> <li>○行政等から入手した各種情報や現地で得た情報などを帰宅困難来訪者に提供</li> <li>○施設の安全面、受入状況等を市災害対策本部に報告</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○施設の安全点検</li> <li>○滞在者・来訪者、従業員等を施設内で待機</li> <li>○帰宅困難来訪者の受入れ、物資等の提供</li> <li>○徒歩帰宅支援</li> </ul>
企業・学校大規模集客施設等管理者	<ul style="list-style-type: none"> <li>○目視等で駅や周辺状況を確認し、情報を収集</li> <li>○行政等から入手した各種情報や現地で得た情報などを滞在者・来訪者に提供</li> <li>○一時退避場所・退避施設への案内</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○建物の安全点検</li> <li>○滞在者・来訪者、従業員等を施設内で待機</li> <li>○商業施設は可能な範囲で営業を継続(販売が支援につながる)</li> </ul>
警察	<ul style="list-style-type: none"> <li>○警察機関としての情報収集と提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○一般車両に対する交通規制</li> <li>○犯罪の予防、取締り</li> <li>○行方不明者の捜索</li> </ul>

## **2. 発災時の対応**

### **2－1. 情報提供の基本的な流れ**

発災時に滞在者・来訪者が混乱なく適切に行動できるようにするためには、そのとるべき行動を支援するための適切な情報提供が重要となります。地区内では行政、事業者それぞれに立場と役割が異なるため、提供すべき情報とそのための行動も異なるものとなります。それぞれの発信者別の情報提供の基本的な流れは次のようになります。



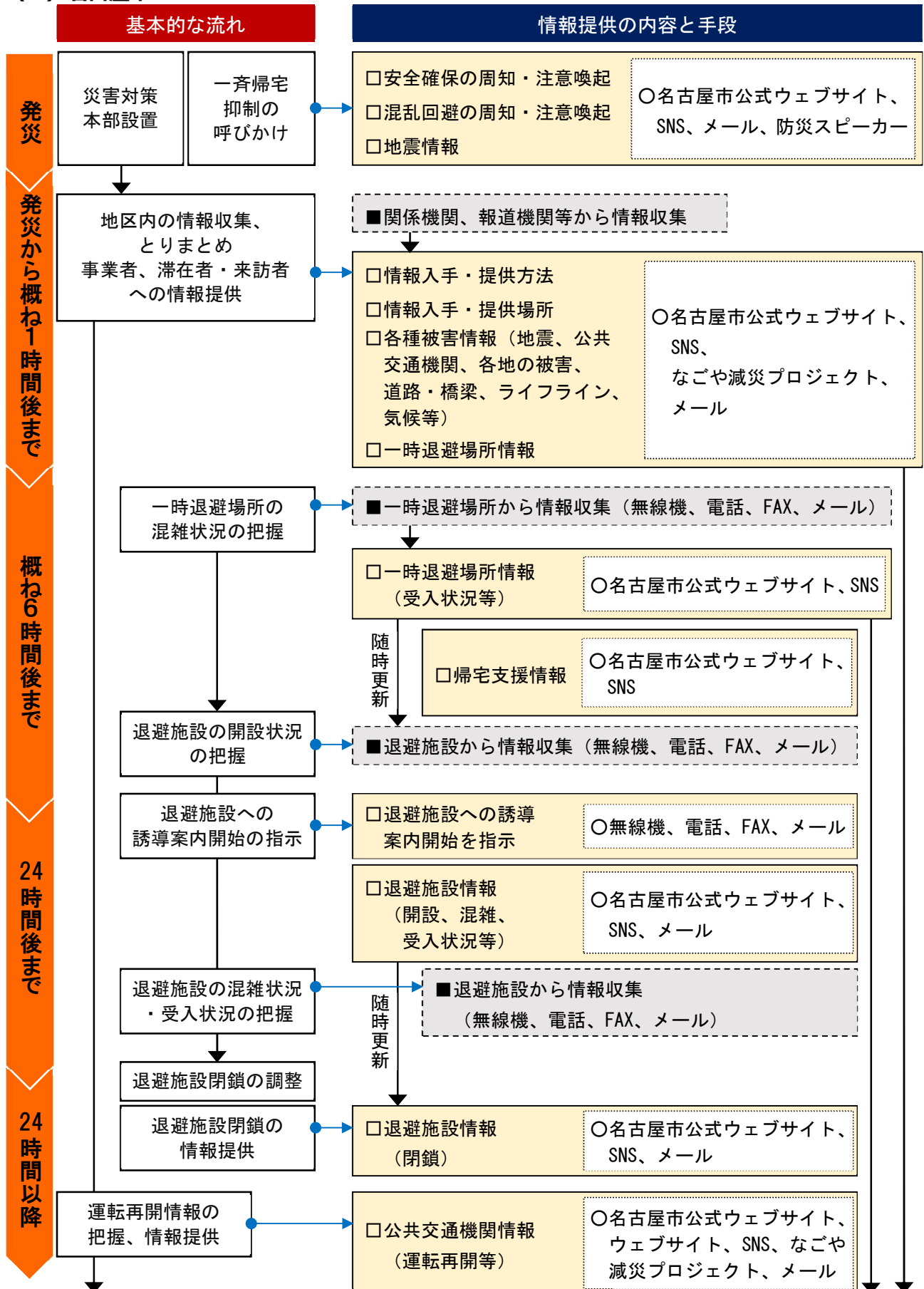
※ 各情報の提供・報告は可能な範囲で実施することとする。

## **2－2．行政・事業者に求められる情報提供**

発災時における情報提供の基本的な流れをもとに、時間経過の中で、どのような情報をどういった手段で提供することが望ましいのか、情報提供の内容と手段について、次ページ以降で行政・事業者など情報の発信者別に整理します。

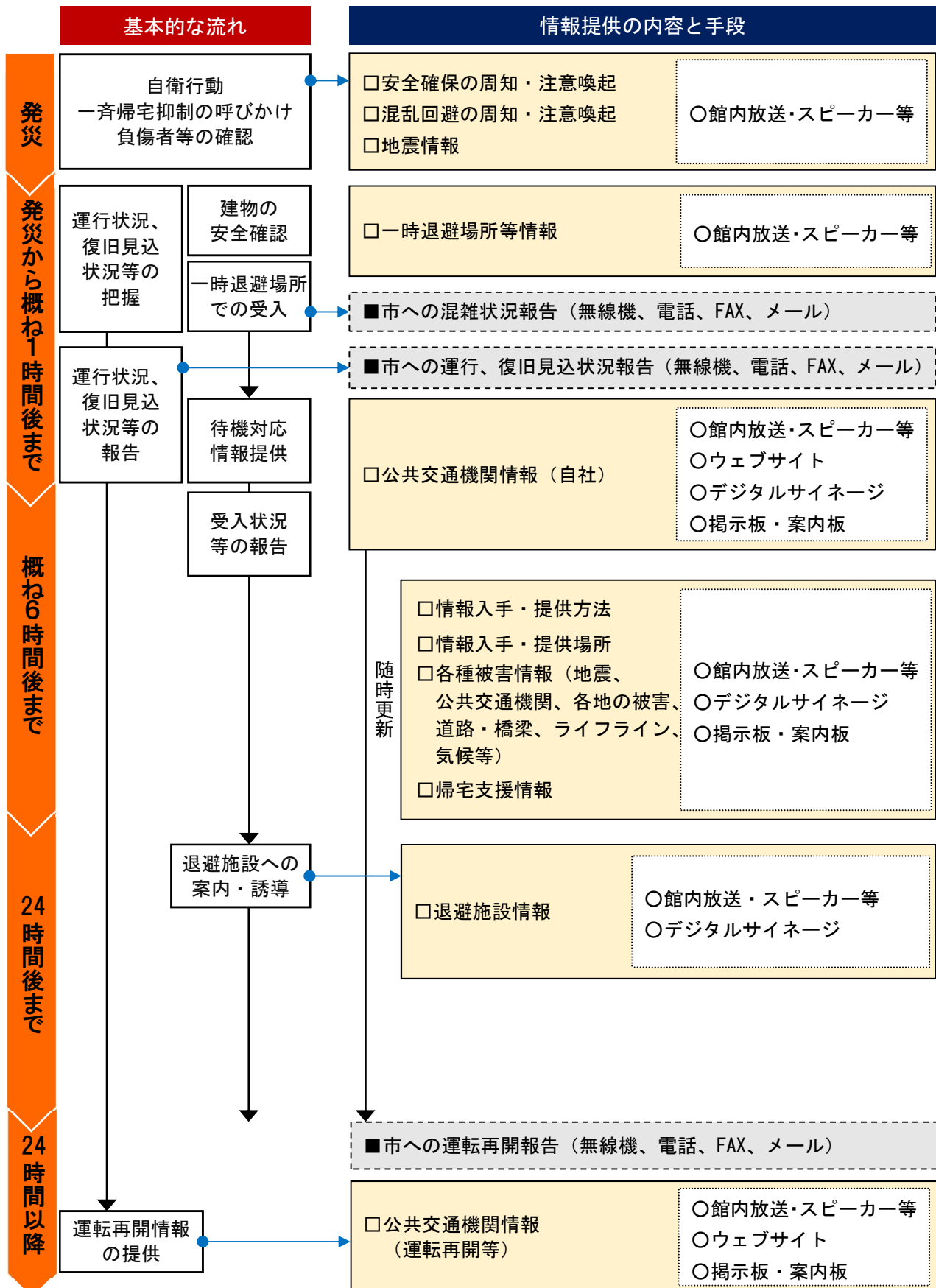
発災時に、各発信者にはこの流れに沿って情報提供を行っていただきます。また、具体的な情報の内容については、「2－3．情報提供の方針と内容」を参照してください。

## (1) 名古屋市



※ 各情報の提供・報告は可能な範囲で実施することとする。

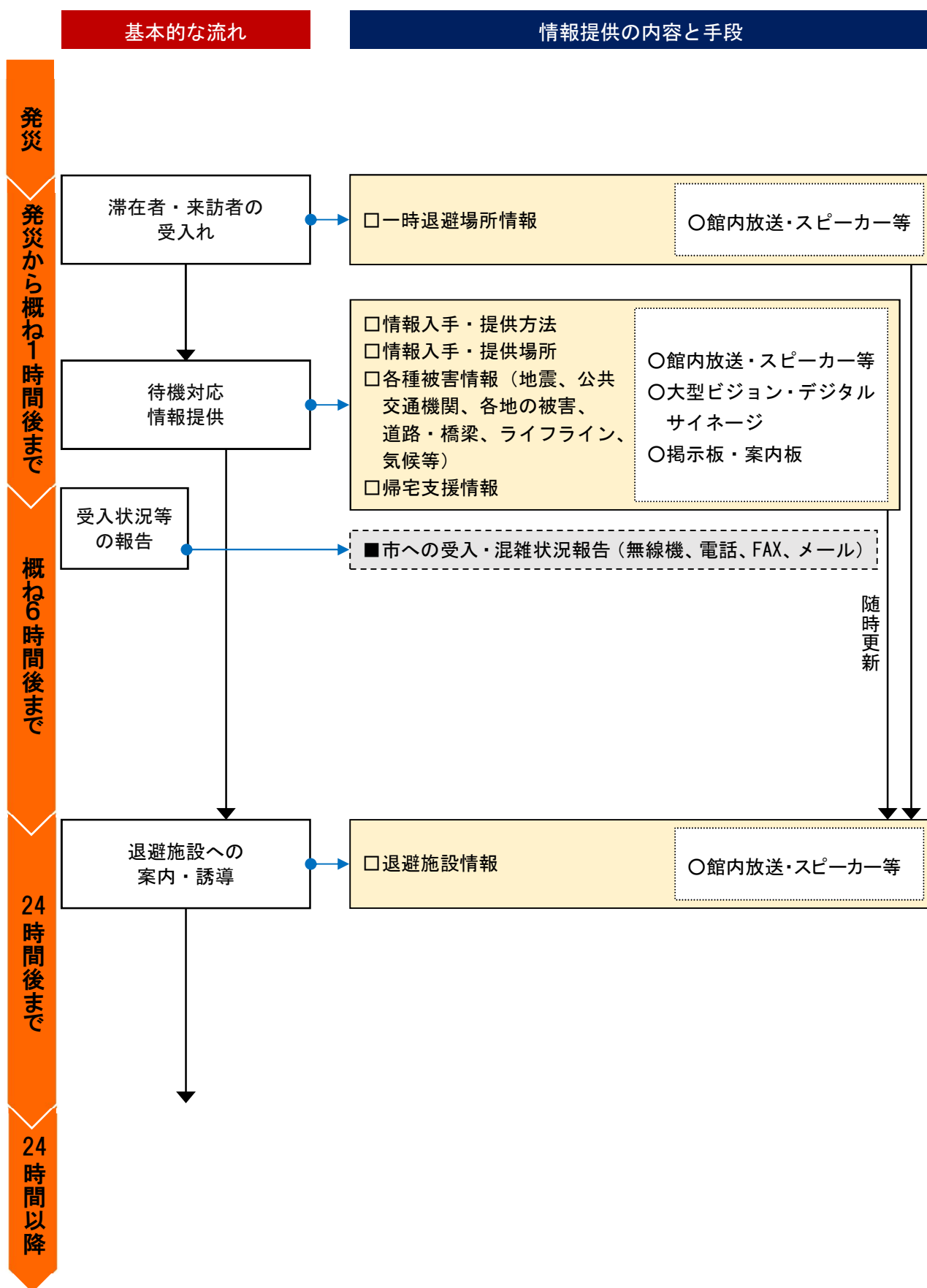
## (2) 交通事業者



※ 各情報の提供・報告は可能な範囲で実施することとする。

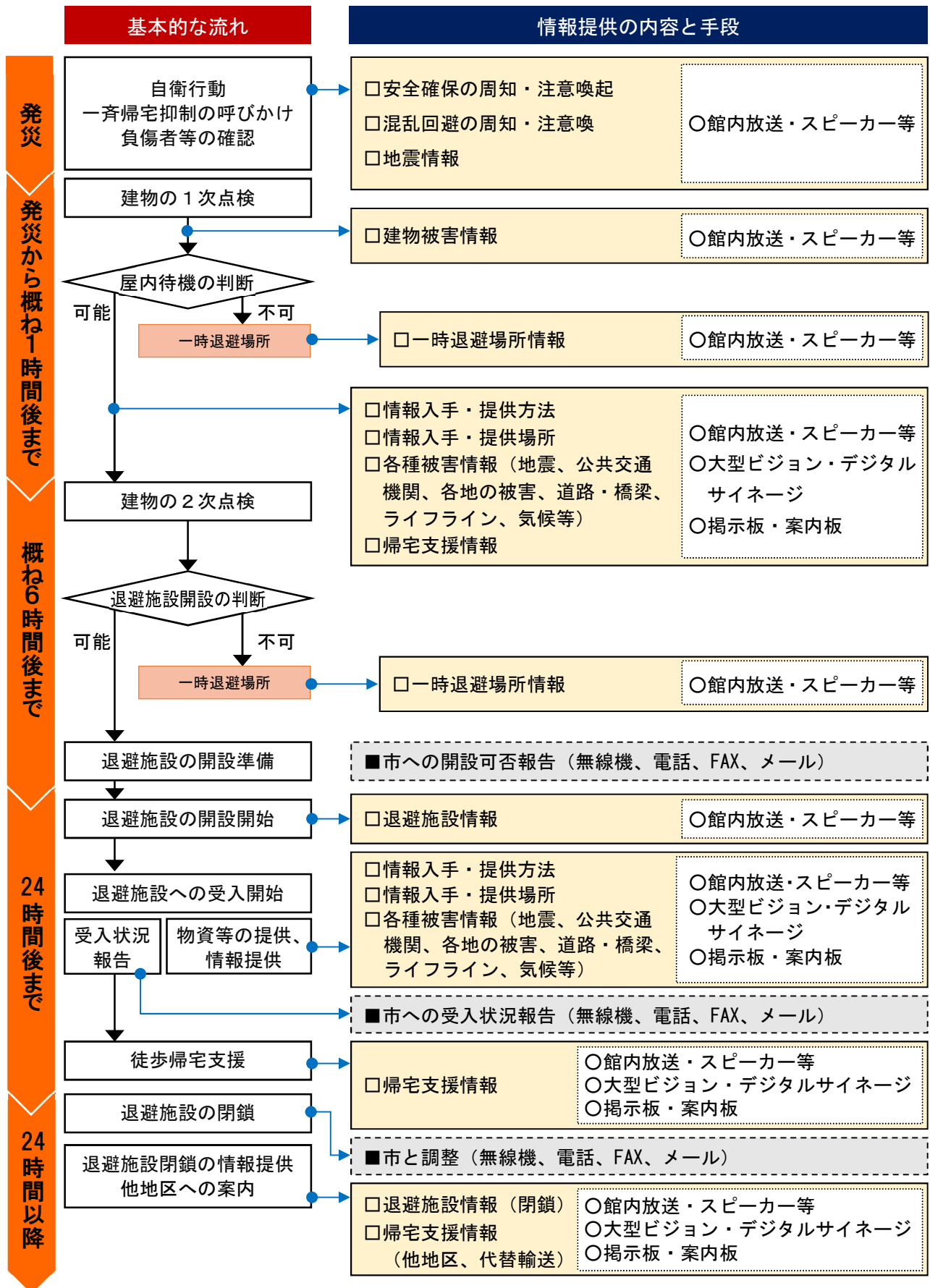


### (3) 一時退避場所管理者



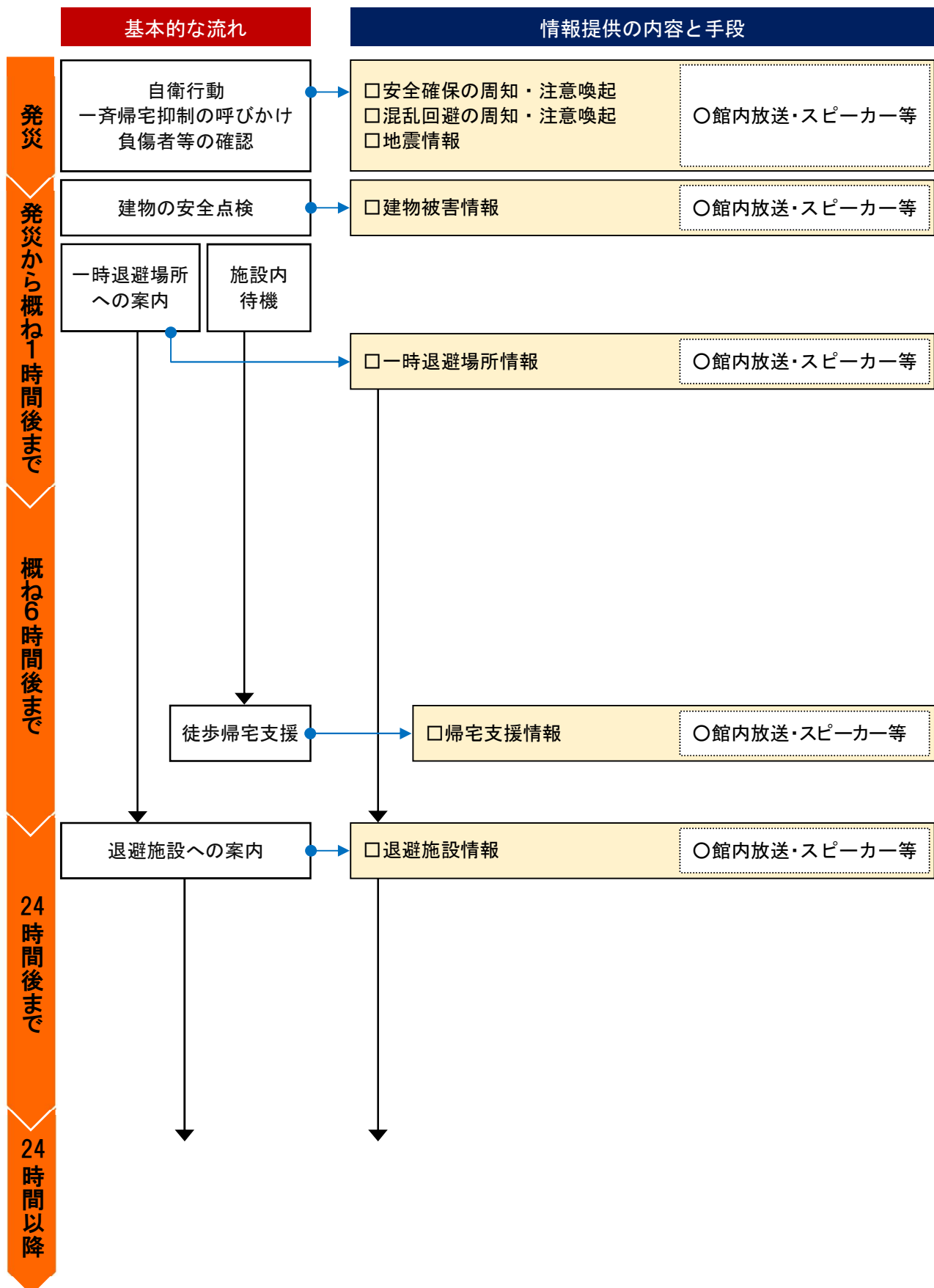
※ 各情報の提供・報告は可能な範囲で実施することとする。

#### (4) 退避施設管理者



※ 各情報の提供・報告は可能な範囲で実施することとする。

## (5) 企業・学校・大規模集客施設等管理者



※ 各情報の提供・報告は可能な範囲で実施することとする。

## 2-3. 情報提供の方針と内容

### (1) 周知・注意喚起情報の提供

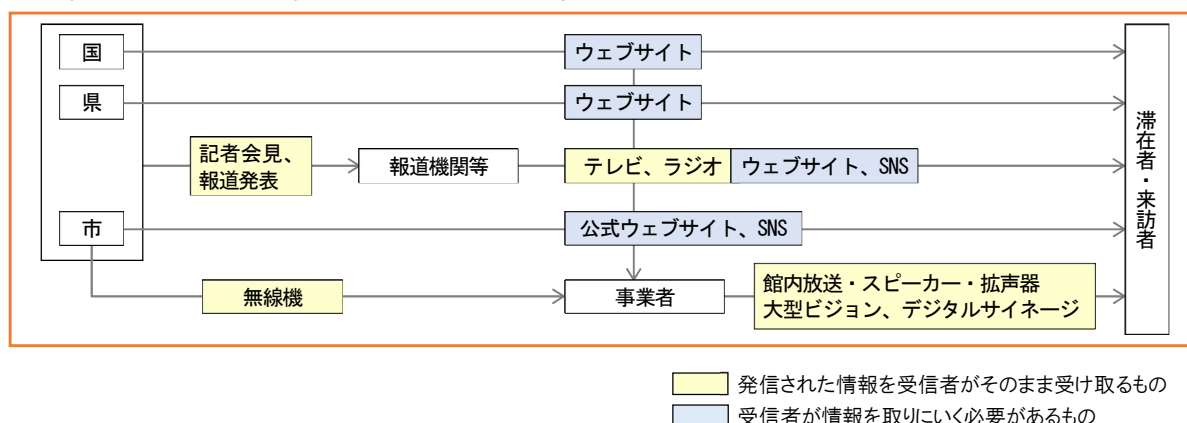
#### ① 安全確保の周知・注意喚起

〔自衛行動の呼びかけ、危険箇所に係る注意喚起、避難情報の提供〕

#### 【方針】

情報提供の方針	・あらゆる滞在者が揺れによる危険を回避するように、滞在する者にできる限り広くかつ迅速に情報を提供すること
情報の発信者	・行政、事業者
情報の入手先	・行政、報道機関等
提供する場合	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地震発生の実事</li> <li>・身の回りの危険に関する情報、それぞれの施設の状況に応じた安全確保の方法、避難の必要性</li> <li>・津波に関する情報</li> </ul>
提供にあたっての留意点	<p>&lt;行政&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・報道機関等を通じた速報、公式ウェブサイト、SNS、メール、防災スピーカー等の即時性の高い手段を用いて提供します。</li> <li>・文字情報の場合は、情報発信日時を明記します。</li> </ul> <p>&lt;事業者&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行政、報道機関等から発信される情報を踏まえるとともに、館内放送やスピーカー等の即時性の高い手段を用いて、速やかに注意喚起を行います。</li> </ul>

#### 【情報伝達フロー（情報の入手と提供の流れ）】



#### 【具体的な対応例】

- ・可能な範囲で、館内放送、スピーカー等により放送する。

#### <案内文案>

ただいま、地震が発生しています。

姿勢を低くして、落下物から身を守る場所に隠れ、揺れが収まるのを待ってください。机など隠れる場所が無い場合は、鞆など手近にあるもので頭部を保護してください。

- ・テレビ、ラジオ、インターネットなどを使用して、直ちに情報を収集する。

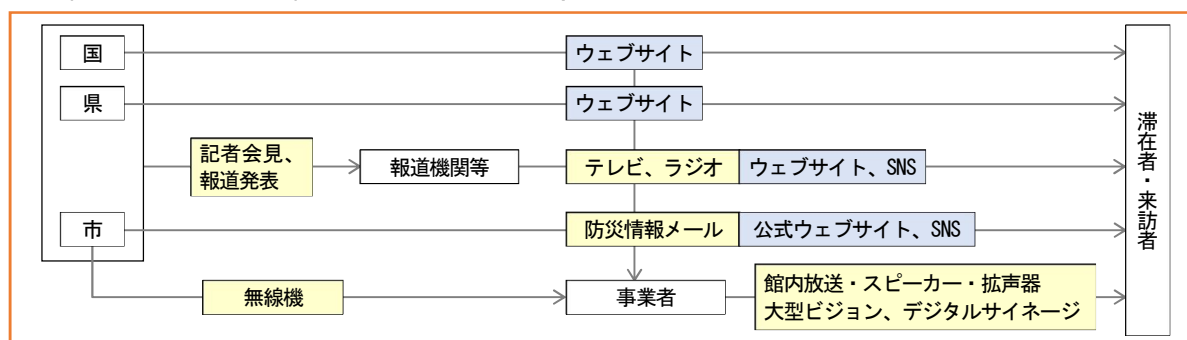
## ②混乱回避の周知・注意喚起

〔一斉帰宅抑制の勤務先や通学先での待機呼びかけ〕

### 【方針】

情報提供の方針	・ 駅への移動や無理な帰宅により、駅や道路でのさらなる混乱を招く事態を避けること
情報の発信者	・ 行政、事業者
情報の入手先	・ 行政、報道機関等
提供する内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 駅への移動、帰宅を避け、今いる施設内に留まること</li> <li>・ 伏見・栄駅周辺には十分な備蓄と安全な退避施設が備わっており、留まったほうが安全であること</li> </ul>
提供にあたっての留意点	<p>&lt;行政、事業者&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 帰宅困難者に一斉帰宅を思い止まらせるよう、無理な帰宅を避けるべき理由を明瞭に説明します。</li> <li>・ 文字情報の場合は、情報発信日時を明記します。</li> </ul> <p>【理由】・ 駅周辺などに大勢が集中し、群集なだれが発生</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 道路が混雑し、緊急自動車等の通行障害になる</li> <li>・ 帰宅途上の余震による建物倒壊や沿道建物からの落下による負傷</li> <li>・ 帰宅途上で情報、食料、水、トイレ等で困惑</li> </ul>

### 【情報伝達フロー（情報の入手と提供の流れ）】



【具体的な対応例】

○行政（名古屋市）

- ・防災スピーカーにより放送、SNS等により配信する。

＜案内文案＞

名古屋市災害対策本部から伏見・栄駅周辺にお見えの方にお知らせします。  
〇〇時〇〇分、東海地方を中心とした広い地域で、強い地震が発生しました。  
公共交通機関は運行を停止しておりますので（停止している可能性がありますので）、  
むやみに移動を開始しないでください。  
テレビ、ラジオ、インターネットなどにより、引き続き正確な情報を確認してください。

○事業者

- ・館内放送、スピーカー等により放送する。

【状況確認中】

＜案内文案＞

大きな地震が発生しました。現在、状況を確認中です。  
皆さんが一斉に移動を開始すると、大変危険です。  
災害情報や交通機関情報等を随時お伝えしますので、混乱が収まるまで、ここで待機してください。

【建物の安全が確認できなかった場合】

＜案内文案＞

先ほど大きな地震があり、本建物の異状の有無について確認を行いました結果、現在、安全性が確認できておりません。  
今後、余震等により皆様に危険が及ぶ可能性がありますので、慌てず順番に、いったん建物の外へ移動をお願いします。  
なお、周辺の一時退避場所をご案内いたしますので、そちらへ移動をお願いします。

【鉄道の運休停止等、周囲の状況が明らかになった場合】

＜案内文案＞

大きな地震が発生したため、伏見・栄駅における鉄道は、全線運休しています。  
現在、伏見・栄駅周辺には、非常に大勢の人が集まっています。  
皆さんが一斉に移動を開始すると、大変危険です。  
災害情報や交通機関情報等を随時お伝えしますので、混乱が収まるまで、ここで待機してください。

## (2) 情報入手・提供方法と場所の周知

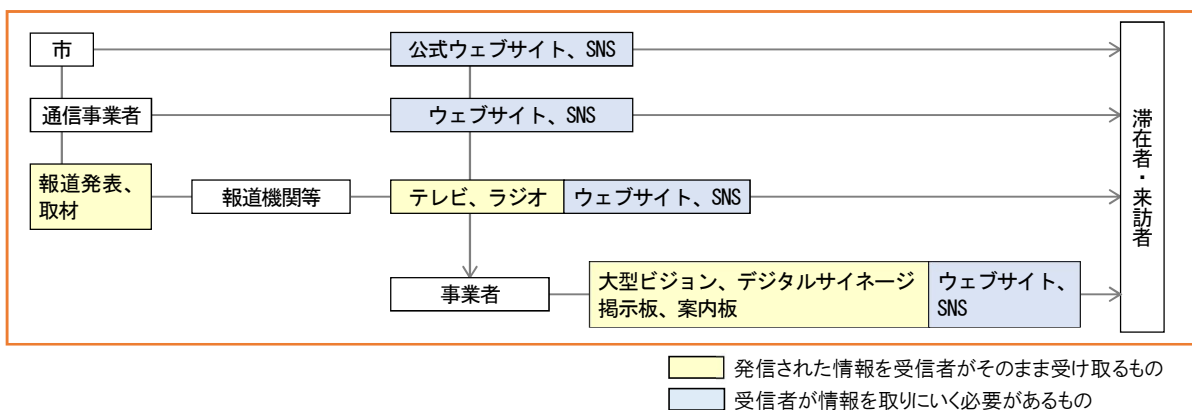
### ① 情報入手・提供方法に関する情報

[各種ウェブサイト、SNS (Facebook・X (旧:Twitter))、メール、災害用伝言板等のアドレス及び使用方法の周知]

#### 【方針】

情報提供の方針	・ 情報入手にかかわる施設や設備がどこにあり、どのような情報やサービスを受けられるかを周知すること
情報の発信者	・ 名古屋市、交通事業者、一時退避場所等管理者、退避施設管理者
情報の入手先	・ 名古屋市、通信事業者
提供する内容	<p>&lt;名古屋市防災アプリ&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ サイト名、URL、QRコード、利用方法</li> </ul> <p>&lt;安否確認手段（災害用伝言ダイヤル、災害用伝言板）&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 名称、URL または電話番号、利用方法</li> <li>・ 安否確認手段の輻輳状況</li> </ul>
提供にあたっての留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ より多くの帰宅困難者の参考となるように、当該サービスを提供する主要事業者の情報を幅広く列挙します。</li> <li>・ 速やかに紹介できるよう、平時から用意しておきます。(掲示物（紙）、インターネットやデジタルサイネージの画面掲載コンテンツ、等)</li> <li>・ 輻輳状況について情報提供する場合は、情報発信日時を併記します。</li> </ul>

#### 【情報伝達フロー（情報の入手と提供の流れ）】



【具体的な対応例】

○名古屋市からの情報提供ツール

- ・ 掲示や配付等することにより周知する。

名古屋市からの情報は、下記より提供されます。
 

 スマホで  
アクセス

1	<b>名古屋市公式ウェブサイト</b>	トップページ 	帰宅困難者 支援サイト 
2	<b>SNS (Facebook・X (旧:Twitter))</b>	Facebook 	X (旧:Twitter) 
3	<b>なごや減災プロジェクト</b> 市民の皆様から寄せられた被害情報をインターネット 上で共有可能		
4	<b>名古屋市防災アプリ</b> 徒歩帰宅者が支援を受けられる「徒歩帰宅支援 ステーション」や帰宅困難者が一時的に避難す る「退避施設」の位置等を確認できます。	iPhone, iPad をご利用の方 	アンドロイド*端末 をご利用の方 

○災害用伝言ダイヤル及び災害用伝言版の使用方法とアドレスの案内

- ・ 掲示や配付等することにより周知する。

## 安否の確認方法

NTTや携帯電話会社で災害用の伝言サービスが提供されています。  
電話がつながりにくい場合に、家族や友人などの安否の確認や連絡などに利用できます。

**▶ 災害用伝言ダイヤル (171) ※NTT東日本またはNTT西日本の電話からの利用は無料です。**

<div style="background-color: #f4a460; padding: 5px; text-align: center; font-weight: bold;">伝言の録音方法</div> <div style="margin-top: 10px;"> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="text-align: center; margin-right: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px; font-size: 18px; margin-bottom: 5px;">1</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px; font-size: 18px; margin-bottom: 5px;">7</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px; font-size: 18px; margin-bottom: 5px;">1</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px; font-size: 18px;">1</div> </div> <div>                         ガイダンスが 流れます                     </div> </div> <div style="margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px; font-size: 18px; margin-bottom: 5px;">(x x x) x x x - x x x x</div> <div style="background-color: #f4a460; padding: 5px; text-align: center; font-weight: bold;">伝言を入れる (30秒以内)</div> </div> </div>	<div style="background-color: #0056b3; color: white; padding: 5px; text-align: center; font-weight: bold;">伝言の再生方法</div> <div style="margin-top: 10px;"> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="text-align: center; margin-right: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px; font-size: 18px; margin-bottom: 5px;">1</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px; font-size: 18px; margin-bottom: 5px;">7</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px; font-size: 18px; margin-bottom: 5px;">1</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px; font-size: 18px;">2</div> </div> <div>                         ガイダンスが 流れます                     </div> </div> <div style="margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px; font-size: 18px; margin-bottom: 5px;">(x x x) x x x - x x x x</div> <div style="background-color: #0056b3; color: white; padding: 5px; text-align: center; font-weight: bold;">伝言を聞く (30秒以内)</div> </div> </div>
--	---

**▶ 災害用伝言版 (web171) ※登録・閲覧は無料です。インターネット接続費用等は別途必要です。**

<https://www.web.171.jp/>

**▶ 携帯電話災害用伝言板**

各社のトップメニューから「災害用伝言版」を開く

伝言の**登録**方法 [登録] を選択 ▶ 伝言を入力する (最大100文字まで)

伝言の**確認**方法 [確認] を選択 ▶ 被災地の方の携帯電話番号を入力して伝言を見る



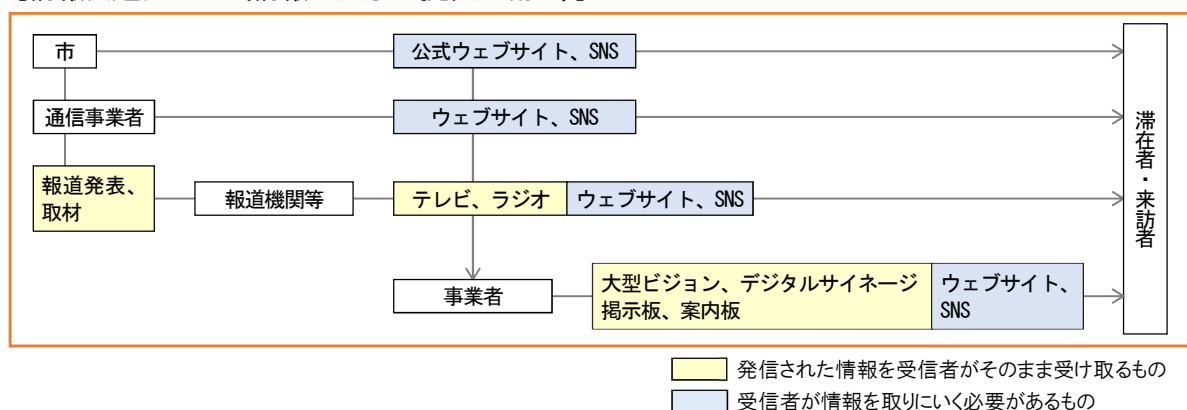
## ②情報入手・提供場所に関する情報

[通信スポット、充電スポット、公衆電話、大型ビジョン、デジタルサイネージ、掲示板等の場所の周知]

### 【方針】

情報提供の方針	・ 情報入手にかかわる施設や設備がどこにあり、どのような情報やサービスを受けられるかを周知すること
情報の発信者	・ 名古屋市、交通事業者、一時退避場所等管理者、退避施設管理者
情報の入手先	・ 名古屋市、施設・設備管理者
提供する内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 無料 Wi-Fi スポット（NAGOYA FREE Wi-Fi など） ⇒ 利用可能場所、接続方法（SSID 等）、内容</li> <li>・ 公衆電話 ⇒ 場所</li> <li>・ 掲示板 ⇒ 場所、提供情報の種類</li> </ul>
提供にあたっての留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地図等を利用してわかりやすく伝えます。</li> <li>・ 速やかに紹介できるよう、平時から用意しておきます。</li> </ul>

### 【情報伝達フロー（情報の入手と提供の流れ）】



### 【具体的な対応例】

#### ○無料 Wi-Fi の位置を検索できるサイト等

- ・ NAGOYA Free Wi-Fi <https://nagoya-free-wifi.com/>
- ・ 大規模災害時には、各サービス事業者の判断に基づき「00000JAPAN」等の災害用 Wi-Fi サービスが無料開放される。

#### ○公衆電話の場所を検索できるサイト

- ・ 公衆電話設置場所検索 <https://www.ntt-west.co.jp/ptd/map/index.html>

### （３）滞在者・来訪者を安全に退避・帰宅させるための情報

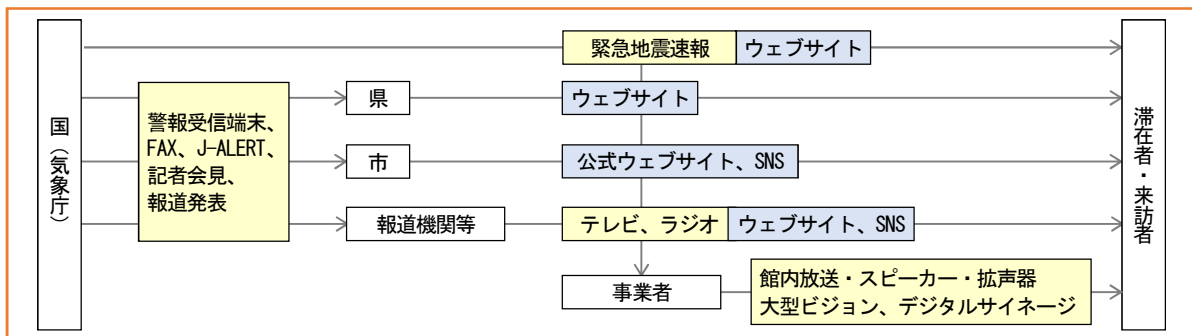
#### ①地震情報

〔震源地、規模、震度、余震の可能性等の情報提供〕

#### 【方針】

情報提供の方針	・ 正確な最新情報を速やかに滞在者に周知すること
情報の発信者	・ 行政、交通事業者、一時退避場所等管理者、退避施設管理者、企業・学校・大規模集客施設等管理者
情報の入手先	・ 行政、報道機関等
提供する内容	・ 発災日時、情報発表日時 ・ 震源地、規模（マグニチュード）、各地の震度 ・ 津波の可能性、余震の可能性
提供にあたっての留意点	<p>&lt;行政&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 報道機関等を通じた速報、公式ウェブサイト、SNS、メール、防災スピーカー等の即時性の高い手段を用いて提供します。</li> <li>・ 文字情報の場合は、情報発信日時を明記します。</li> </ul> <p>&lt;事業者&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 行政、報道機関等から発信される情報を踏まえるとともに、館内放送やスピーカー等の即時性の高い手段を用いて、速やかに注意喚起を行います。</li> </ul>

#### 【情報伝達フロー（情報の入手と提供の流れ）】



緊急地震速報 発信された情報を受信者がそのまま受け取るもの  
ウェブサイト 受信者が情報を取りにいく必要があるもの

### 【具体的な対応例】

#### ○行政からの災害情報を入手できるウェブサイト（例）

- ・ ホームページに情報が掲載されるので、情報収集を行う。

・ 名古屋市ウェブサイト	<a href="http://www.city.nagoya.jp/index.html">http://www.city.nagoya.jp/index.html</a>
・ 気象庁ウェブサイト	<a href="http://www.jma.go.jp/jma/index.html">http://www.jma.go.jp/jma/index.html</a>
・ 総務省消防庁ウェブサイト	<a href="http://www.fdma.go.jp/">http://www.fdma.go.jp/</a>
・ 内閣府ウェブサイト（防災情報のページ）	<a href="http://www.bousai.go.jp/">http://www.bousai.go.jp/</a>

#### ○地震情報

- ・ 報道機関や行政からの情報を踏まえて、館内放送やスピーカー等により周知する。

##### <案内文案>

本日〇〇時〇〇分頃地震がありました。

気象庁の発表によると、震源地は〇〇で、地震の規模を示すマグニチュードは〇〇、名古屋市〇〇区の震度は〇〇です。

余震が発生する可能性があります。エレベータは使用しないでください。また、転倒や落下の可能性のあるものからは離れてください。

今後の避難、帰宅等については、館内放送による指示に従ってください。

なお、各地の震度は次の通りです。

- ・ 〇〇県〇〇市 震度〇

・ …

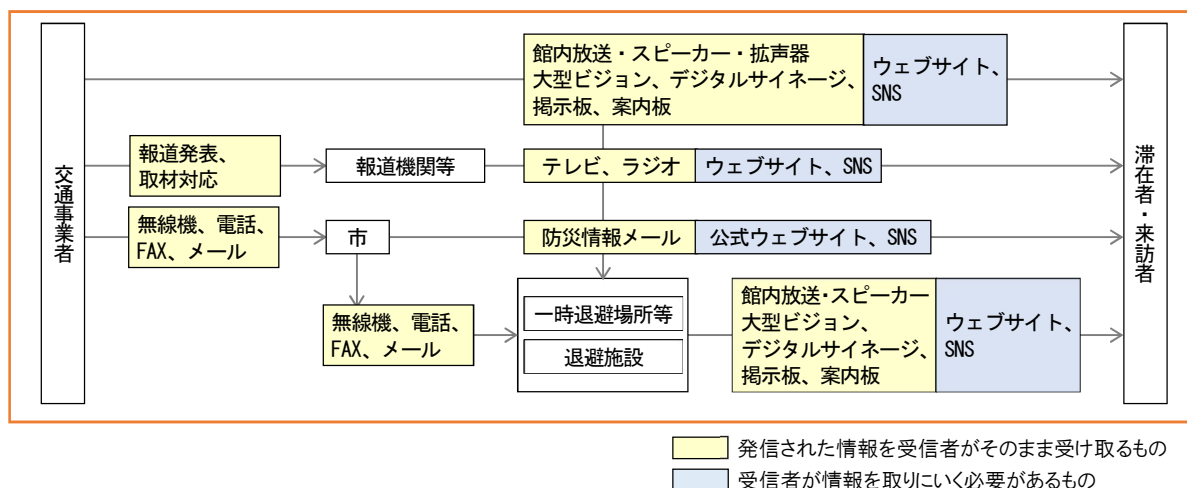
## ②公共交通機関情報

[鉄道・地下鉄・バス等の被害、運行状況、復旧再開見込等の情報提供]

### 【方針】

情報提供の方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 正確な最新情報を速やかに滞在者に周知し、無理な帰宅を抑制するとともに、情報を求めて駅への人が集中し、混乱することを避けること</li> <li>・ 運行再開時にも人が殺到しないように混雑を避けること</li> </ul>
情報の発信者	・ 名古屋市、交通事業者、一時退避場所等管理者、退避施設管理者
情報の入手先	・ 交通事業者、名古屋市
提供する場合	<p>&lt;伏見・栄駅発着の鉄道・地下鉄・バスの運行に関する情報&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業者名、路線名、被害状況、運行休止区間、運行休止日時、運転再開見込み</li> </ul> <p>&lt;鉄道以外の情報&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中部国際空港（セントレア）、名古屋空港の被害状況、運行状況</li> </ul>
提供にあたっての留意点	<p>&lt;交通事業者&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 最新情報を駅掲示板やウェブサイト等を利用して随時公表します。同時に名古屋市に報告します。</li> </ul> <p>&lt;名古屋市&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 鉄道・地下鉄、バス事業者からの情報をとりまとめて、表形式などに見やすく編集して情報提供します。</li> <li>・ インターネットが利用可能な状況であれば、事業所・学校などの各種施設が帰宅困難者に提供する上で利便性が高いように、電子媒体で作成し、メール送付、ホームページからのダウンロード等、インターネット経由で提供します。</li> <li>・ 発信日時を併記し、随時、最新情報を提供します。</li> <li>・ 運転再開時には、再開の情報と併せて、一斉に駅に殺到しないような移動の手順（ルール）も情報提供します。</li> </ul> <p>&lt;一時退避場所等、退避施設&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市や交通事業者、報道機関等が提供する情報を入手し、館内放送、掲示物（紙）、ホームページやデジタルサイネージ等の画面への表示等によって情報提供を行います。</li> </ul>

### 【情報伝達フロー（情報の入手と提供の流れ）】



【具体的な対応例】

○公共交通機関の運行情報を入手できるウェブサイト（例）

- ・ホームページに情報が掲載されるので、情報収集を行う。

・地下鉄・市バス（名古屋市交通局）	<a href="https://www.kotsu.city.nagoya.jp/jp/pc/">https://www.kotsu.city.nagoya.jp/jp/pc/</a>
・ＪＲ東海	<a href="https://jr-central.co.jp/">https://jr-central.co.jp/</a>
・名古屋鉄道	<a href="https://top.meitetsu.co.jp/">https://top.meitetsu.co.jp/</a>
・名鉄バス	<a href="http://www.meitetsu-bus.co.jp/">http://www.meitetsu-bus.co.jp/</a>
・三重交通	<a href="http://www.sanco.co.jp/">http://www.sanco.co.jp/</a>
・近畿日本鉄道	<a href="https://www.kintetsu.co.jp/">https://www.kintetsu.co.jp/</a>
・あおなみ線	<a href="https://www.aonamiline.co.jp/cgi/">https://www.aonamiline.co.jp/cgi/</a>
・リニモ	<a href="http://www.linimo.jp/">http://www.linimo.jp/</a>
・ゆとりーとライン	<a href="https://www.guideway.co.jp/">https://www.guideway.co.jp/</a>

○公共交通機関の運行状況

- ・報道機関、市、ホームページからの情報を踏まえて、掲示や配布等することにより周知する。

公共交通機関の運行状況					
<鉄道>		20**年**月**日**：**現在			
事業者	路線	休止区間	再開見込	被害状況	URL
JR 東海	東海道本線	○駅～○駅			
	中央本線				
	．．．				
名鉄	名鉄本線				
	．．．				
地下鉄	東山線				
<バス>		20**年**月**日**：**現在			
事業者	系統	休止区間	再開見込	被害状況	URL
市バス	○○系統	○～○			
．．．					

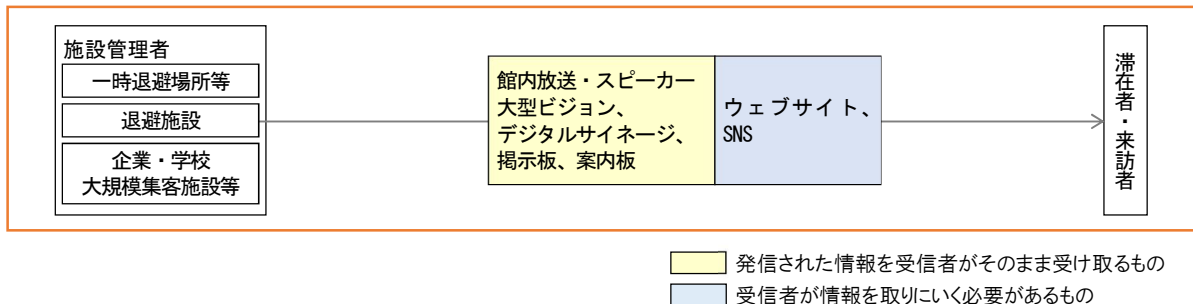
### ③建物被害情報

[屋内待機可否、建物点検結果]

#### 【方針】

情報提供の方針	・ 建物の安全確認を行って建物の被害状況、安全性について判断し、屋内待機の可否を建物内の滞在者・来訪者に伝え、必要であれば一時退避場所等への移動の指示を出すなどの確に安全確保できるようにすること
情報の発信者	・ 施設管理者等
情報の入手先	・ 施設管理者等
提供する内容	・ 建物の点検結果（屋内待機の可否） ・ 危険だと判断した場合 ⇒ 一時退避場所、経路に関する情報提供し、移動を指示
提供にあたっての留意点	・ 大きな余震が発生した場合は、その都度、情報提供を行います。 ・ 移動を指示する場合は、混乱が生じないように避難誘導を行います。 ・ 一時退避場所、経路に関する情報は速やかに案内できるよう、平時から用意しておきます。

#### 【情報伝達フロー（情報の入手と提供の流れ）】



#### 【具体的な対応例】

##### ○建物被害情報の提供

- ・ 館内放送、スピーカー等により周知する。

##### <案内文案>

先ほど大きな地震があり、本建物の異状の有無について確認を行いました結果、現在、安全性が確認できておりません。

今すぐ、危険ということではありませんが、今後、余震等により皆様に危険が及ぶ可能性がありますので、他の施設への移動をお願いします。

なお、周辺の一時退避場所をご案内いたしますので、そちらへ移動をお願いします。

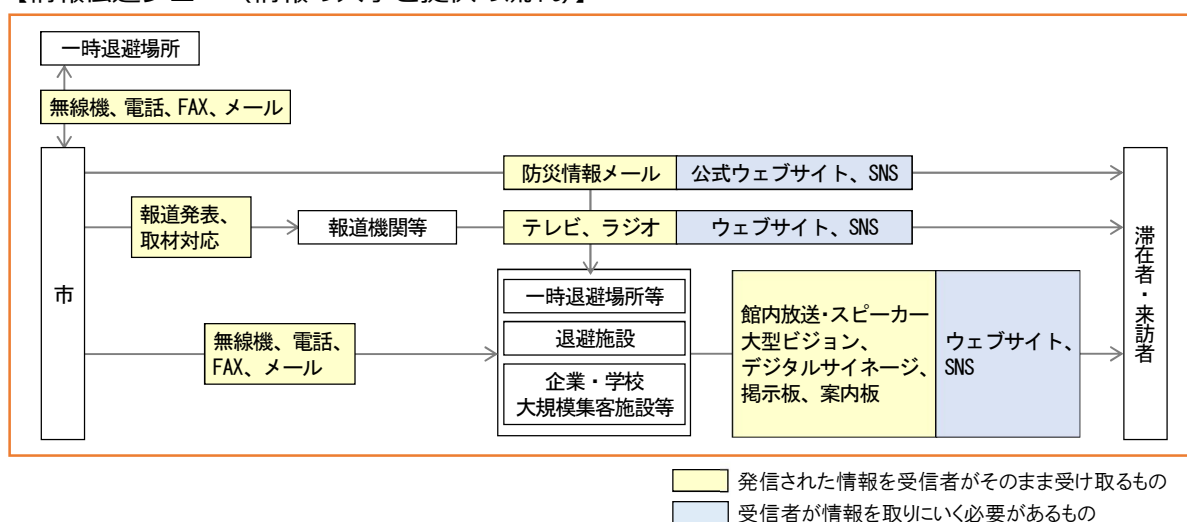
#### ④一時退避場所等情報

[場所、混雑状況]

##### 【方針】

情報提供の方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地区ごとに誘導する一時退避場所等を予め指定するなど、できるだけ混雑を回避し、効率的に一時退避場所等を活用することで、可能な限り大勢の人の安全を確保すること</li> <li>・ なお、誘導する一時退避場所等は地区によって異なるため、提供する情報も地区によって異なる</li> </ul>
情報の発信者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 名古屋市、交通事業者、一時退避場所等管理者、退避施設管理者、企業・学校・大規模集客施設等管理者</li> </ul>
情報の入手先	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 名古屋市</li> </ul>
提供する場合	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 施設名称、住所、地図、混雑状況</li> <li>・ 一時退避場所等の周辺や避難経路における火災、建物被害等の状況（可能な範囲で情報を提供）</li> </ul>
提供にあたっての留意点	<p>&lt;名古屋市&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一時退避場所等から混雑状況や周辺の沿道の被害状況などの情報を収集し、とりまとめたものを名古屋市公式ウェブサイトやSNS等で情報提供します。</li> </ul> <p>&lt;交通事業者、一時退避場所等、退避施設、企業・学校・大規模集客施設等&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 名古屋市等から得た情報や現地で自らが確認した情報を踏まえて、一時退避場所等の混雑状況や避難経路の状況を随時更新します。</li> </ul>

##### 【情報伝達フロー（情報の入手と提供の流れ）】



##### 【具体的な対応例】

###### ○避難場所情報の提供

- ・ 館内放送、スピーカー等により周知する。

###### <案内文案>

本日〇〇時〇〇分頃に発生した地震の影響により、本施設は閉鎖いたします。  
最寄りの一時退避場所である〇〇〇〇へ移動をお願いします。

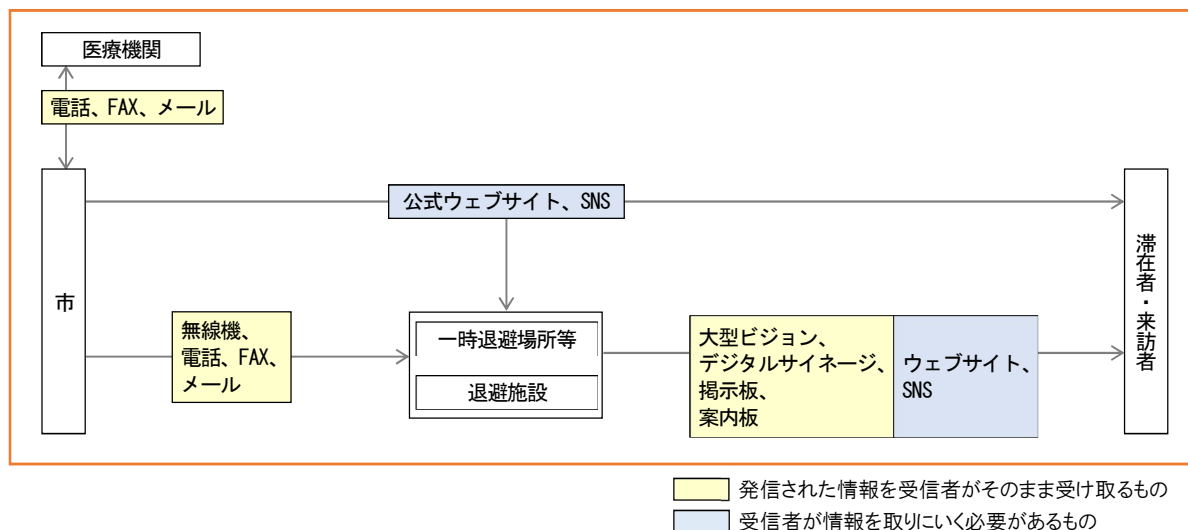
## ⑤医療情報

〔病院、薬局、救護施設等〕

### 【方針】

情報提供の方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地区内や周辺の医療機関の情報を提供し、負傷者の利用を促すこと</li> <li>・ 地区内で発生した負傷者の対応は可能な限りエリア内で行うこと</li> </ul>
情報の発信者	・ 名古屋市、一時退避場所等管理者、退避施設管理者
情報の入手先	・ 名古屋市
提供する内容	<p>&lt;病院、薬局、救護施設に関する情報&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 施設名称、住所、地図、開業有無、診療可能科目、混雑状況等</li> <li>・ 施設周辺や経路における火災、建物被害等の状況（可能な範囲で情報を提供）</li> </ul>
提供にあたっての留意点	<p>&lt;名古屋市&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 対象とする医療機関に対して、受入れ可否の状況を聴取し、とりまとめて、地区内の一時退避施設等や退避施設等にメールやFAX等によって情報提供します。</li> </ul> <p>&lt;一時退避場所等、退避施設&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 名古屋市からの情報をもとに、掲示物やデジタルサイネージ等により速やかに情報提供を行う。</li> </ul>

### 【情報伝達フロー（情報の入手と提供の流れ）】





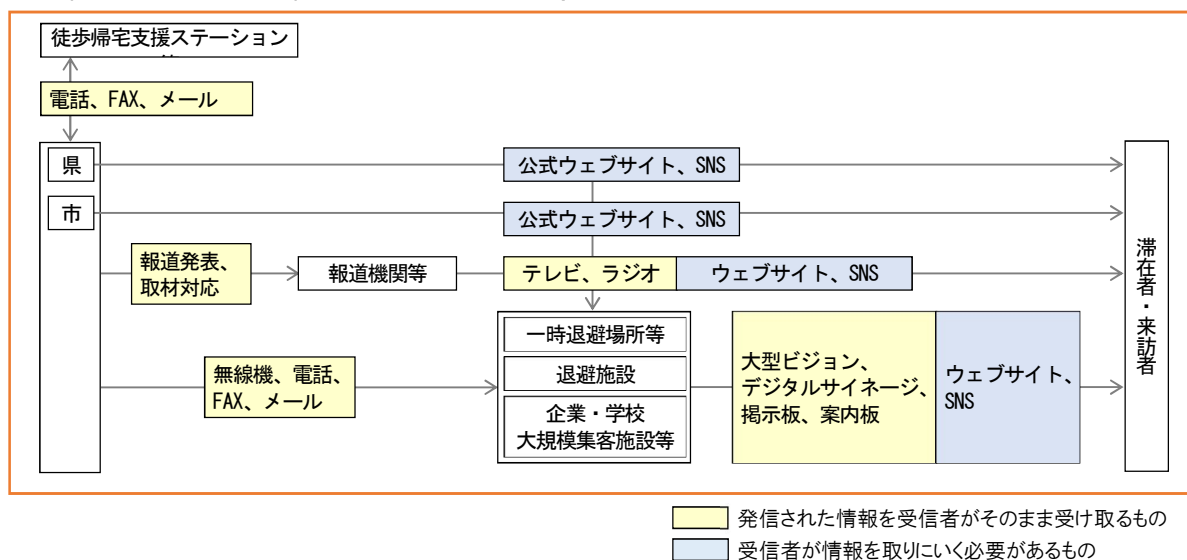
## ⑥帰宅支援情報

〔徒歩帰宅支援ステーション、徒歩帰宅経路、道路の通行可否、代替輸送等についての情報〕

### 【方針】

情報提供の方針	・地震発生直後の混乱が収束し、情報収集により経路の安全を確認した後に帰宅を開始するよう呼びかけること
情報の発信者	・名古屋市、交通事業者、一時退避場所等管理者、退避施設管理者、企業・学校・大規模集客施設等管理者
情報の入手先	・名古屋市、愛知県、徒歩帰宅支援ステーション
提供する場合	<p>&lt;徒歩帰宅支援ステーション&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・場所、支援内容</li> </ul> <p>&lt;徒歩帰宅経路&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・通行止め箇所、沿道の被害、混雑状況等</li> </ul> <p>&lt;代替輸送&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・路線、場所</li> </ul> <p>&lt;他地区の情報&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・場所、支援内容</li> </ul>
提供にあたっての留意点	<p>&lt;名古屋市&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・徒歩帰宅支援ステーションの情報を提供します。</li> <li>・経路の道路状況などの情報を収集し、被害状況を見やすくとりまとめて公表します。</li> </ul> <p>&lt;交通事業者、一時退避場所等、退避施設&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「名古屋市防災アプリ」のダウンロード、デジタルサイネージなどで情報提供し、徒歩帰宅を案内します。</li> <li>・徒歩帰宅可能な距離圏内（20km 以内）の近隣市町の徒歩帰宅支援情報（ホームページの URL 等）も併せて提供します。</li> </ul>

### 【情報伝達フロー（情報の入手と提供の流れ）】



【具体的な対応例】

○帰宅支援提供

- ・館内放送、スピーカー等により周知する。

＜案内文案＞

帰宅される方は、帰宅途上の被害情報を確認して、お気をつけてお帰りください。ただし、道路が通行止めとなっている場合や混雑している場合の無理な移動はおやめください。

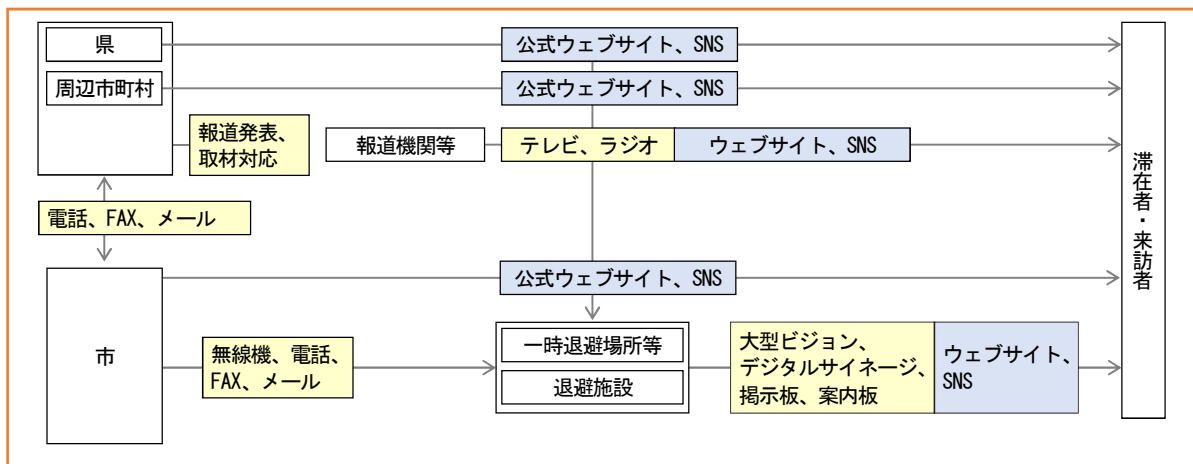
## ⑦各地の被害情報

[現在地や居住地等の被害情報]

### 【方針】

情報提供の方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 滞在者・来訪者が自分の居場所や帰宅する方面の被害の大きさについて概況を把握し、帰宅の可否について大まかな予測ができるようにすること</li> <li>・ 正確な情報を伝えることで、無理な帰宅を抑制すること</li> </ul>
情報の発信者	・ 名古屋市、交通事業者、一時退避場所等管理者、退避施設管理者
情報の入手先	・ 県、周辺市町村、名古屋市、報道機関等
提供する内容	<p>&lt;市町村単位の被害情報&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 津波被害、火災発生、建築物被害、孤立情報、地盤沈下・液状化等</li> </ul> <p>&lt;市内・近隣市町の地区別の被害情報&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 津波被害、火災発生、建築物被害、地盤沈下・液状化等</li> </ul>
提供にあたっての留意点	<p>&lt;名古屋市&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 周辺市町村や地区内の情報を収集し、被害状況を分かりやすくとりまとめて、ウェブサイト等で情報提供します。発信日時を併記して、随時最新情報に更新します。</li> </ul> <p>&lt;交通事業者、一時退避場所等、退避施設&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 名古屋市や報道機関等から入手した情報を大型ビジョン・デジタルサイネージ、掲示板・案内板、館内放送等を通じて情報提供を行います。</li> </ul>

### 【情報伝達フロー（情報の入手と提供の流れ）】



     発信された情報を受信者がそのまま受け取るもの  
     受信者が情報を取りにいく必要があるもの

【具体的な対応例】

○各地の被害情報

- ・市公式ウェブサイト等から情報収集を行い、とりまとめ、掲示、配布等することにより周知する。

各地の被害状況					
＜〇〇市＞			20**年**月**日**：**現在		
地区	津波被害	火災発生	建築物被害	孤立情報	地盤沈下・液状化
A 地区					
B 地区					
...					
＜□□町＞			20**年**月**日**：**現在		
地区	津波被害	火災発生	建築物被害	孤立情報	地盤沈下・液状化
A 地区					
B 地区					
...					

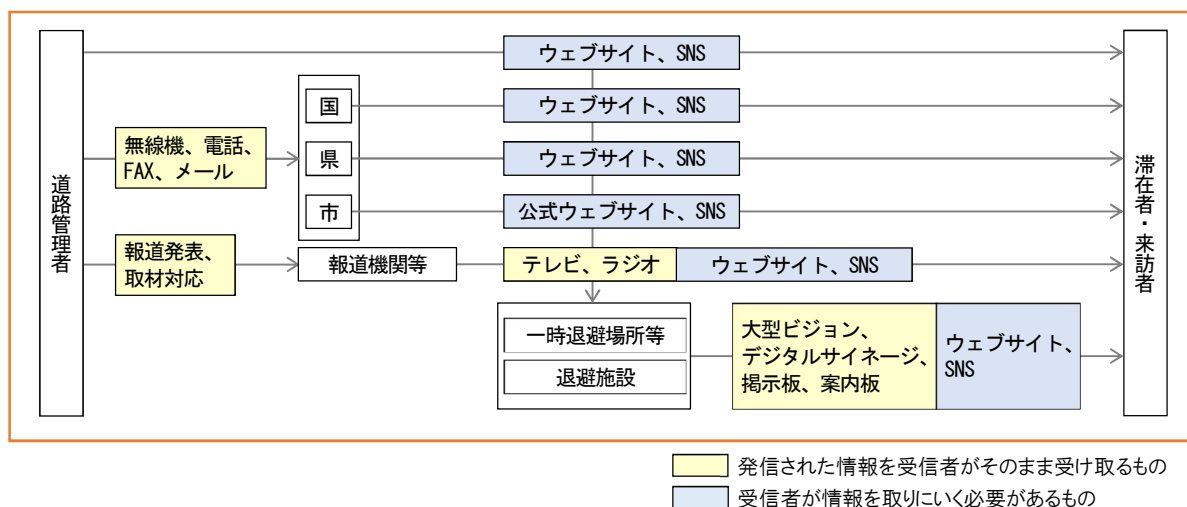
## ⑧道路・橋梁情報

[通行止め、危険箇所等]

### 【方針】

情報提供の方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 正確な最新情報を速やかに滞在者に周知すること</li> <li>・ 徒歩帰宅のルート検討に役立ててもらふこと</li> </ul>
情報の発信者	・ 名古屋市、交通事業者、一時退避場所等管理者、退避施設管理者
情報の入手先	・ 行政（道路管理者）
提供する場合	・ 被災している路線名、被災区間、被災状況、通行止めの有無
提供にあたっての留意点	<p>&lt;名古屋市&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 表形式にするなど見やすく簡潔に表示し、ウェブサイトや SNS 等インターネット経由で情報提供します。</li> <li>・ 発信日時を併記して、随時最新情報に更新します。</li> </ul> <p>&lt;交通事業者、一時退避場所等、退避施設&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 名古屋市や報道機関等から入手した情報を、掲示物やデジタルサイネージ等により速やかに情報提供を行います。</li> </ul>

### 【情報伝達フロー（情報の入手と提供の流れ）】



### 【具体的な対応例】

#### ○行政からの災害情報を入手できるウェブサイト（例）

- ・ ホームページに情報が掲載されるので、情報収集を行うとともに、掲示等により周知する。

・ 名古屋市ウェブサイト	<a href="http://www.city.nagoya.jp/index.html">http://www.city.nagoya.jp/index.html</a>
・ 国土交通省ウェブサイト	<a href="http://www.mlit.go.jp/">http://www.mlit.go.jp/</a>
・ 総務省消防庁ウェブサイト	<a href="http://www.fdma.go.jp/">http://www.fdma.go.jp/</a>
・ 内閣府ウェブサイト（防災情報のページ）	<a href="http://www.bousai.go.jp/">http://www.bousai.go.jp/</a>

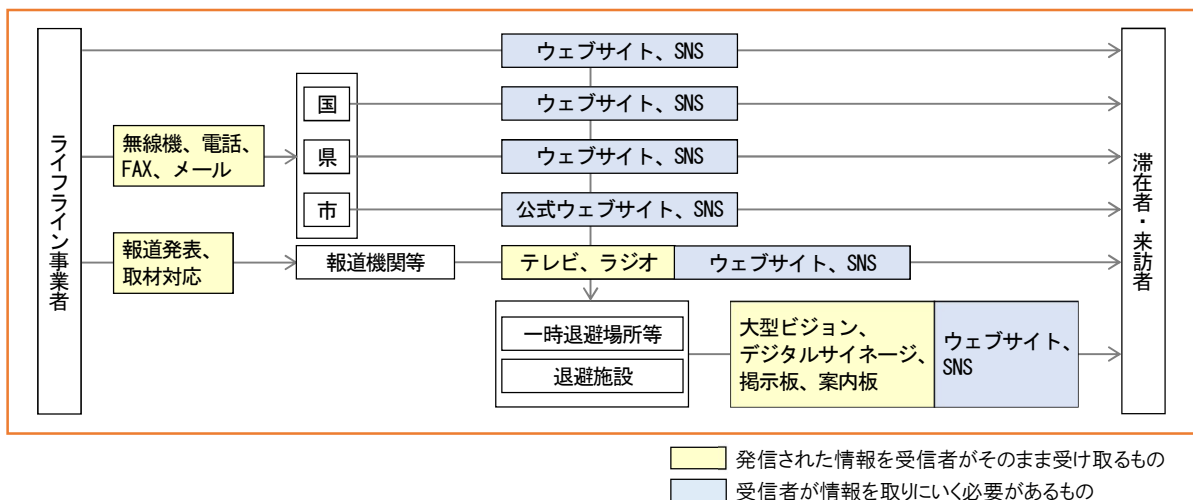
## ⑨ ライフライン情報

[電気・水道・ガス・通信等の被害、復旧情報等]

### 【方針】

情報提供の方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 正確な最新情報を速やかに滞在者に周知すること</li> <li>・ 徒歩帰宅のルート検討に役立ててもらふこと</li> </ul>
情報の発信者	・ 名古屋市、交通事業者、一時退避場所等管理者、退避施設管理者
情報の入手先	・ ライフライン事業者
提供する内容	・ 被災している路線名、被災区間、被災状況、通行止めの有無
提供にあたっての留意点	<p>&lt;名古屋市&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 表形式にするなど見やすく簡潔に表示し、ウェブサイトや SNS 等インターネット経由で情報提供します。</li> <li>・ 発信日時を併記して、随時最新情報に更新します。</li> </ul> <p>&lt;交通事業者、一時退避場所等、退避施設&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 名古屋市や報道機関等から入手した情報を、掲示物やデジタルサイネージ等により速やかに情報提供を行います。</li> </ul>

### 【情報伝達フロー（情報の入手と提供の流れ）】



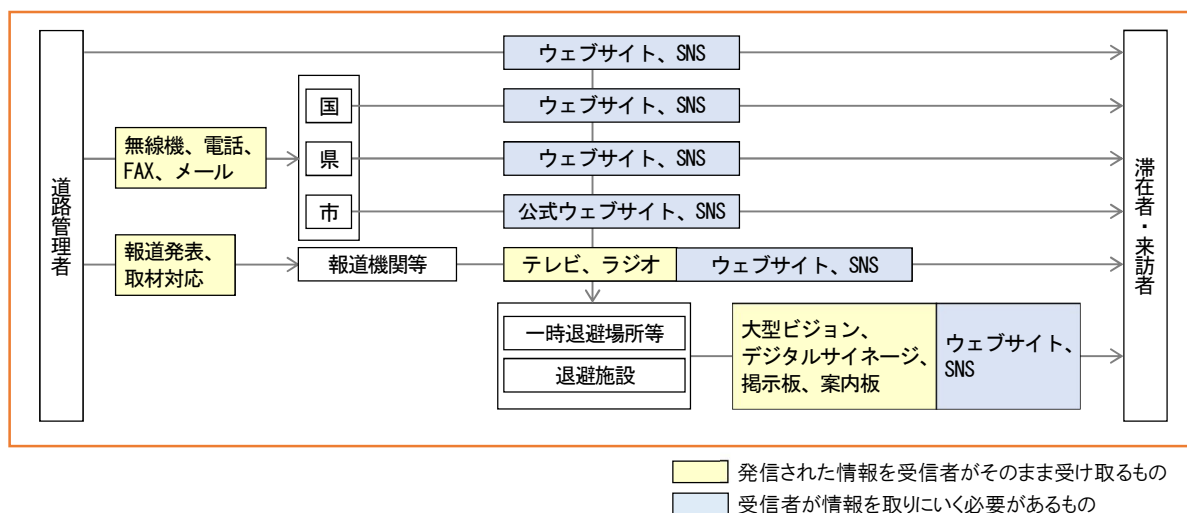
## ⑩ 気候情報

[雨の情報、気温]

### 【方針】

情報提供の方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 正確な最新情報を速やかに滞在者に周知すること</li> <li>・ 徒歩帰宅のルート検討に役立ててもらうこと</li> </ul>
情報の発信者	・ 名古屋市、交通事業者、一時退避場所等管理者、退避施設管理者
情報の入手先	・ 行政、気象情報事業者、報道機関等
提供する内容	・ 天候（降雨）、気温等
提供にあたっての留意点	<p>&lt;名古屋市&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 表形式にするなど見やすく簡潔に表示し、ウェブサイトや SNS 等インターネット経由で情報提供します。</li> <li>・ 発信日時を併記して、随時最新情報に更新します。</li> </ul> <p>&lt;交通事業者、一時退避場所等、退避施設&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 名古屋市や報道機関等から入手した情報を、掲示物やデジタルサイネージ等により速やかに情報提供を行います。</li> </ul>

### 【情報伝達フロー（情報の入手と提供の流れ）】



### 【具体的な対応例】

#### ○行政からの災害情報を入手できるウェブサイト（例）

- ・ ホームページに情報が掲載されるので、情報収集を行うとともに、掲示等により周知する。

・ 名古屋市水防情報システム	<a href="http://nagoya-city.bosai.info/ui/dashboard">http://nagoya-city.bosai.info/ui/dashboard</a>
・ 名古屋市水防情報システム（スマートフォン版）	<a href="http://nagoya-fire-smartphone.bosai.info/smartphone/">http://nagoya-fire-smartphone.bosai.info/smartphone/</a>
・ 気象庁ウェブサイト	<a href="http://www.jma.go.jp/jma/index.html">http://www.jma.go.jp/jma/index.html</a>
・ 総務省消防庁ウェブサイト	<a href="http://www.fdma.go.jp/">http://www.fdma.go.jp/</a>
・ 内閣府ウェブサイト（防災情報のページ）	<a href="http://www.bousai.go.jp/">http://www.bousai.go.jp/</a>

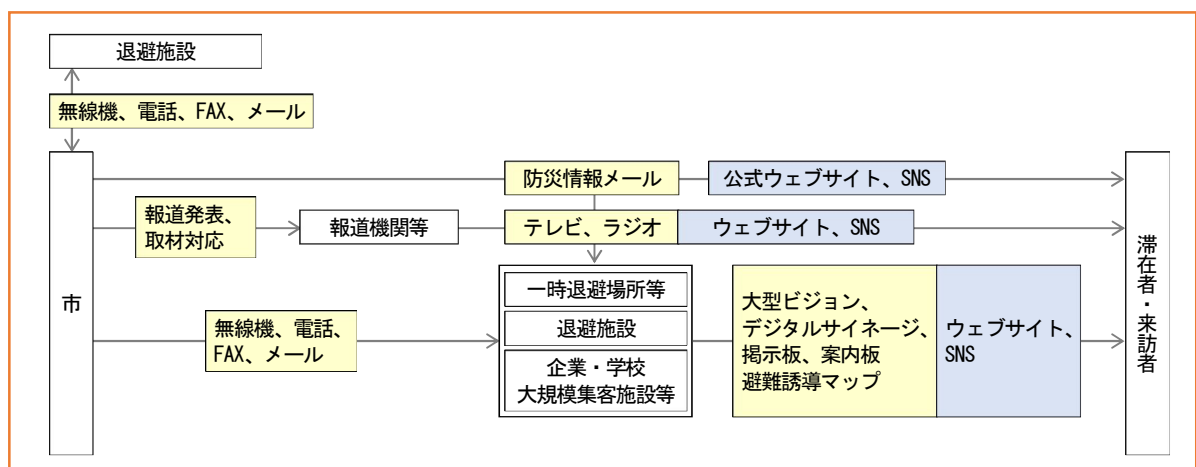
## ⑪退避施設情報

[場所、開設状況、混雑状況、受入可否]

### 【方針】

情報提供の方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・できるだけ混雑を回避し、効率的に退避施設を活用することで、可能な限り大勢の人の滞在を可能にすること</li> <li>・一時退避場所等からの移動をスムーズに行うために、近くの退避施設へ誘導するとともに、近くに誘導することで土地勘のない人にも対応すること</li> <li>・誘導する退避施設は地区によって異なるため、提供する情報も地区によって異なるとともに、誘導先の優先順位は伏見・栄駅以外の近隣の退避施設が上位になるよう対応すること</li> </ul>
情報の発信者	・名古屋市、交通事業者、一時退避場所等管理者、退避施設管理者、企業・大規模集客施設等管理者
情報の入手先	・名古屋市
提供する場合	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設名称、住所、地図、開設状況、混雑状況（現時点での受け入れ可能人数）、受入れ可否</li> <li>・施設周辺や避難経路における火災、建物被害等の状況（可能な範囲で情報を提供）</li> </ul>
提供にあたっての留意点	<p>&lt;名古屋市&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・退避施設管理者を通じて、退避施設の開設状況、混雑状況や受入可否等について情報収集を行い、見やすくとりまとめたものをウェブサイトや SNS 等インターネット経由で情報提供します。</li> <li>・一時退避場所等の混雑状況等を踏まえて、一時退避場所等管理者へ誘導する退避施設を指示します。</li> </ul> <p>&lt;交通事業者、一時退避場所等、退避施設、企業・学校・大規模集客施設等&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・退避施設の開設状況や混雑状況、施設周辺や沿道における被害等の状況についても、可能な範囲で情報収集を行い、情報提供します。</li> </ul>

### 【情報伝達フロー（情報の入手と提供の流れ）】



無線機、電話、FAX、メール 発信された情報を受信者がそのまま受け取るもの  
ウェブサイト、SNS 受信者が情報を取りにいく必要があるもの



【具体的な対応例】

- ・名古屋市からの情報をもとに、退避施設の開設情報を周知する。

退避施設の開設情報

第〇報 〇〇時〇〇分現在

本日〇〇時頃に発生した地震の影響で、伏見・栄駅における鉄道は、全線運休しています。  
徒歩での帰宅が困難な方は、地震発生から 24 時間を限度に、退避施設で退避することができます。  
あわてず順番に、移動を開始してください。  
現時点で開設されている退避施設は、以下のとおりです。

施設名称	住所		混雑状況	受入可否
〇〇〇〇	〇〇〇〇		空きあり	可
...				

### 3. 平常時の備え

#### 3-1. 啓発の実施

行政と事業者が連携し、発災時に備え一人ひとりが平常時から行うべき取組みが認識されるよう、帰宅困難者対策に係る啓発を平常時から継続的に行います。

#### 3-2. 情報伝達体制の構築

発災時に必要な情報が伝達できるよう、地区内における情報伝達体制を平常時から確立しておく必要があります。具体的には、情報伝達のルールや流れについて共通認識を持ち連携に努めること、情報伝達に必要な機器の確保・整備に努めることが必要です。また、本情報伝達ガイドラインを地域で周知・確認しておくことも重要です。

##### ○連絡機器の確保（防災無線）

- ・一時退避場所や退避施設等の管理者間で情報伝達をするためのデジタル簡易無線機等を常備。

##### ○連絡簿の作成と定期更新

- ・関係機関の連絡先と連絡窓口・担当者等を掲載した連絡簿を関係者全員で共有し、定期的に更新（年1回程度）。

##### ○訓練・研修等による人材育成

- ・災害や情報収集伝達に関する訓練や研修を通して人材を育成。

##### ○情報共有ツールの構築

- ・関係機関で情報を共有するための基盤を構築。

#### 3-3. 情報入手・提供方法と場所の周知

行政と事業者が連携し、発災時に滞在者・来訪者が必要な情報を収集できるよう、各種情報の入手・提供方法（各種ウェブサイト、SNS、災害用伝言板等）、場所（Wi-Fi等の通信スポットの場所等）に関する情報を、平常時から把握しておきます。

#### 3-4. 各施設内における情報伝達環境の整備

事業者は、発災時、施設内待機する滞在者・来訪者が自ら判断し行動するために適宜必要な情報を提供できるよう、各施設内における情報伝達環境を平常時から整備しておきます。

#### 3-5. 安否確認手段・情報入手方法と場所の確認

発災時に帰宅困難者になる場合に備え、一人ひとりが平常時から備えておく必要があります。具体的には、家族等との安否確認手段の確保、各種情報の入手・提供方法（各種ウェブサイト、SNS、災害用伝言板等）、場所（Wi-Fi等の通信スポットの場所等）の確認等を行っておきます。